

石城と田村の對立抗爭

私刑事件の根源

地理的の反目から事毎に衝突 常に迫害された石城組の恨み

遂に復讐的爆發

田村中學校の生徒私刑事件は縣下の教育界に非常なセンセーションを捲き起し加害者五名は何れも傷害致死罪として起訴されるに至つた、然るに茲に注目すべきは

加害者

の生徒が既記の如く何れも石城郡出身の者たる點である、何故石城出身の生徒ばかりがクラスメートを袋叩きと爲し然も遂に死に至らしむるが如き暴行を敢てするに及んだか？ 此點世の比し

疑問

する處であるが同事件の根源が地理的の反目、即ち田村石城の對立が因となつて事毎に及んだと聞く事に依つて成程と肯ける節がある、仄聞するに同中學校は石城郡からの入學且つ在校生が可成りに多い、従つて田村郡の

生徒等

は石城出を恰も他からの侵入者の如く目し白眼を以つて是れを迎ふると共に一方石城出は一步他郷へ踏み出して居ると

の觀念から結束して是れに當ると云ふが如く相互に對立して事毎に衝突し、ツとは知らず兩者間の軋轢抗爭は益々深刻化し遂に

大猿も

たゞならざる仲に陥る結果を醸し出したのである、然る折柄被害者の兄は田村組の先鋒となつて常に加害者である下級生の石城組を散々に迫害し

遣る方

なく恨みは骨髓に徹し何か事あらばと切齒扼腕、復讐の觀念は若い血と共に猛りに猛つて居た、而してその體積の造り場は弟に對して向けられ遂に今回の重大事をひき起すに至つたのである、一昨日福島刑務所に收容さるゝ爲め三春署の門前から

自動車

に乗せらるゝ、變り果てたいとし子の姿を見て親達は男泣きに泣いたといふ

「當校は……」

大丈夫」と

「實に氣の毒な事件が起きたもので」と前提して左記の如く語る

第二次委員選出に

復雜な空氣を醸す

然れ共大勢は結局 井上、前澤が動かぬ處

平町家調委員十五名の中より二名の代表者即ち第二次委員を選出するに當り政友系は井上、前澤、堀江の三名中未だ決せず民政系の同志會も近く幹部會を開く筈であるがこれも前澤、荒川吉村の

三派に

分れるらし、更に兩派に對抗して野崎一派も策動しあはよくは政民兩派の不平分子と合流し割込まんとするなど場合によつては會派の離散も行は

城出身の生徒は約二三十名ある筈です、そして同校の寄宿舎は大部分石城郡出に依つて埋つて居りますから今度の事件も寄宿舎内で起つた關係上事件の關係者が石城出に多い譯です、地理的の對立——夫れも原因の一つであらうと思ひます、而し當校の如く在校生一千四百九十九名の内、石城が一千六百二十名で双葉四十二名、他の郡二名、他府縣四十二名と云ふ様に土地の者が絶對多數である處には郷土を略にするに云ふ様な點から軋轢は牛じません、是れは父兄達も安心して可成りと思ひます」

元主家へ忍込む

不良な自動車運轉助手

石城郡内郷村大字高坂字台埼玉縣牛乳製作二男神田喜三雄(一)假名は去る一月二日平町町自動車營業澤正路方に運轉助手として雇はれ中素行トの學から三月六日雇を解かれたが翌七日夜土足のみ、同家二階に忍び入り洋服のポケットに入つて居た現金十圓を窃取逃走した事發覺昨日午後五時頃平署員に捕へられた

先行き悲觀

石城郡の養蠶家は不況の折とは言ひ春繭五、掛以上を信じて掃くも努力以上に行つた處繭相場の標準が下落し沼津の初取引は四十六掛といふ意外な安値でしかも生糸輸出期の米國需要は益々減退すると噂せられたのでこの分では郡内の繭の出廻りは四十掛もむづかしいと甚だ悲觀の状態にある

四倉助役決定

石城

江名濱で 鯉の初大漁

相場は十二割 石城郡江名町酒井源之助所 有漁船信榮丸は鯉四千尾を房州沖合で漁獲し本日入港したが相場は十二割に下る見込である

日本海々戰 實戰談

警中の記念日 平町各學校では来る二十七日の海軍記念日に夫々記念講演會或は活動寫眞會を催す、警中學校では當日日本海々戰に参加した森豫備海軍少將を招き實戰談を傾聴する由

豫定の 一千圓に

人事相談寄附 平署内人事相談所では過日管、各所に於て活動寫眞會を催し基金募集中の處此程豫定の金一千圓に達した爲め年利六分三厘の本縣農工債券を買入れた

平町 人事

△長橋町一、二山内弘子(二三)東京市本郷區湯島天神村一丁目 當時石城郡警中學校大宇藤原宇源内一會社員鈴木平吉氏(三三) 眞行 △八幡小路五七 本多麟太郎氏三男

常磐片々

平町の第二次家調委員選出は昨今の天候と掛け合ひ野心家の鼻突き合ひ、鼻が先にクタバビれる事やら…… 『ソレ突け、ヤレ突け』 もと、鼻の先の赤い井上氏、アブラでテリを添えてか、つて居るだけに一番優勢なのも事の外おかし

黄吉斤入込み及バトラン全郡一三一

御用命通り一戸も

斤入は百文に



明日の生活
今日も明日も北
西の風大晴れ
勝ちなるも時に
曇る事あり

- △前六・三〇 ラヂオ体操
△前九・三〇 日用品佈段
△前九・四〇 料理献立
△前九・四〇 阿部茂登
△前九・四〇 子供の時間
△前九・四〇 英語講座
△前九・四〇 英語講座
△前九・四〇 英語講座
△前九・四〇 英語講座
△前九・四〇 英語講座

生活改善より
見たる食物と住居

佐藤 つぎ

標準食量といふものが大體
定められてゐるが
私達は 軟に餘り
に蛋白質の過量を信じられ
て来た、又蛋白質の性質な
どはあまり考へられなかつ
たのであるがそれ、その
中を直にするものであるか
ら實際に利用せらる、
眞價の 研究が必要
であらう、又炭酸ビタミン
等についても特別の注意
の下に攝取されねばならぬ

要するものがあつてであらう
要するに家庭は人間活動の
根原である故に精神
的に満たされる所である
と同時に物質的にも目的に
かなふ様に社會發達に順應
する様に工夫改善が必要で
あらうと思ふ

浪花節
加賀御前

仁平三年の秋京都五條の
橋の供養が執行された。其
折に警衛隊の北面の武士遠
藤武者盛遠は渡邊日の子を
嫁御前を見染め、遂に伯母
衣川を誘ねて、伯母上貴女
の娘を慕ひ申すれば、何卒
巨殿より縁を断り二度の縁
とて拙者の妻に被下たし
嫌だと仰せ遊ばせば伯母上
始め日も嫁も身に掛け殺
し返す及で身も腹と、無
理難題、是非なく嫁を消
ぎ、此の話をすれば、嫁は
不肖なる私をそれ程愛し

映畫物語
都會を遊ぶ女

月が住みなれし水郷をて
らす頃憧れの都へ華やかな
希望を懸いて旅立つた太田
と時子の兩人は、大都會に
働く可く、太田はホテルの
皿洗に、時子はタイピスト
として仕事に付いたが、ホ

給はるなら、今宵九つの鐘
を合圖に我館に忍んで夫、
豆を殺して下され、百ヶ日
を濟んでより二度の縁とし
て貴郎様に嫁付ますならば
行先長くお見捨なくとの事
極東選手権
大會の状況
第九回極東選手権競技大會
は五月廿四日開會式に引續
き明治神宮競技場を以て中
各種競技の中で選定した競
技をそれ、の競技場より
中継放送せんとするのであ
ります

第九回極東選手権競技大會
は五月廿四日開會式に引續
き明治神宮競技場を以て中
各種競技の中で選定した競
技をそれ、の競技場より
中継放送せんとするのであ
ります

鯛のうの花漬
阿部もと子發表
▽材料(五人前)鯛大十尾
さや豌豆十五個、うの花
(オカラ)一合 酢一合
鹽砂糖各適宜
▽調理法 初めオカラはす
り鉢に入れよくすつて鯛に
入れ酢三四勺入れてへらで
かき廻しながらいためさや
豌豆の茹で、細かく切んだ
ものを加へ鹽味の素をへれ
て十分に煎りつけて置きま
す。鯛はワタを取り出し皮
のはげません様によく洗ひ
まして水を切り、きれいな
粗に取り出して頭と背の間
に庖丁を入れて頭を下より右
手を左に持ち頭の下より右
手を入れ石の指を、に入
指ゆびを下にして背骨をお
さへ真すぐ骨から肉をはな
す心持で向ふに指をはこび
ます、又其れと同時にほら
をさいて行きます、腹は先
程ワタを除きました時半分
秤さけてのますからたやす
く指で切れます。一部つく
りましたらさつと鹽をふり

タル支配人の誘惑に反抗せ
し爲兩人は失業し再び職を
求める身となりしも、幸に
も時子だけは新聞廣告に依
てビルディングの建築事務所
に勤く事になりしも、再び
誘惑の手は延び時子の前に
ダイヤの指輪が醜惡なる條
件が附せられて現れしも太
田の眞の愛により誘惑よ
りのがれしも再び失業の運
命にあらねばならなかつた
太田は時子の爲に指輪を得

大井に入れて別に酢と砂糖
を取りおきこれを魚がかぶ
る位注いで置きます。十分
酢が込み込みましたら一つ
づつ取り出しオカラを適宜
におなかにつめ合せて又煎

断然!! 優秀映畫廿三日ヨリ
マキノ一九三〇年春期超特作品
世界不朽の名作の映化 講談俱樂部連載小説復讐改題
時代劇 日本巖屈王 十二卷
河津精三郎、大林梅子、櫻木ゆき
外オールスターキャスト
車亞キネマ超特作 流行小唄の時代劇
光岡龍三郎主演
マキノ特作 小金井勝主演
時代劇 兩國橋 八卷
マキノ特作 根岸東一郎主演
現代劇 特急本 打 八卷
こかやこれ野球黄金時代の物語
十日躍ヒルアリ 東亞 有聲座

警城炭礦 最優等炭
◎石炭 正味 十貫目 一俵 金六十錢
東京瓦斯コークス一等品
◎コークス 一俵 金一圓二十錢
本炭代用、無煙無臭、家庭用炭
◎玉炭 一箱 金貳圓也
石炭は日方の正確を期する爲め正味な貫目を
一俵の標準と決めました
◆配達迅速 (電話二三七番)
警城炭礦販賣總代理店
阿部石炭商店



使用した其の日からス
グキク婦人病自宅療治
薬、美神丸を未だシテ
ナイ御方がありますが
永らく子宮病にて百薬
の効なく御困りの方、
處女にてもコシケに惱
む方は安全にて人に知らるゝ心配もなく治療の目的を
達します 定價一週間分四十錢 十週間分參圓五十錢
平町古鍛冶町(縣社ノ下) 阿康藥店
一手販賣部 (電話四四番)
無代進呈の方法もあります

祝貴紙擴張

磐城名産尚武の名殘
五月のほりと
鯉の吹流し
毎度御引立の
三國屋特製
海陸問屋 吉高野虎三郎
本町通り三丁目南側
電話七三五番

市原醫院

平町田町(電話一一四番)
内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男
入院隨時

東京久月の

武者人形
御座敷のぼり
東京久月製造元 出張所
平町三丁目

端午の句節

「五月外のほり」や「ぬの鯉」
夫れに「武者人形」と「座敷のぼり」
着荷如山
例年に依つて大勉強!!
スガノヤ提灯店
平町四丁目(電七二二)

特價

五月人形
お座敷のぼり
ぬの鯉
平三丁目 金太郎玩具店

清涼宴會

福島縣平町
丸昌ホール
電話四三九番
公衆大席場

貸出 小口信用
低利資金
損料貸ふとん
白銀町 柏木方

健胃散
小野常治謹製

節句贈答品の
賣出し

和久井屋
漆器店
平町壹丁目
電話四〇五番

女子英學會開設

一、初等科
一、受驗科
一、研究科
講師 鈴木ふよ子 女史
青山學院神學部卒業
規則書あり進呈す
南町裡
日本基督教會内
女子英學會

お酒召すなら
天下の名酒
榮冠
東京南京新堀株式會社 丸玉商店

専門 内科一般
宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)
川井内科診療所
電話七二二番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子

外科専門
増築落成病室完備
上田外科醫院
電話一二九番